

ED曲『通常攻撃が全体攻撃で二回攻撃ママ』って、こんな歌♪



茅野愛衣さんのコメント

EDは、もう曲そのものが好きどころという感じです。「バタバタママ」の替え歌なんですよ。歌詞も作品のイメージをそのまま詰め込みました!っていう感じなので、面白いと思います。TVサイズでももちろんですが、ぜひフルサイズで聞いて下さい。楽しくて可愛い仕上がりになっています。私も真々子さんらしさ全開で歌っていますので、よろしくお願いします。

「通常攻撃が全体攻撃で二回攻撃のお母さんは好きですか?」のED曲「通常攻撃が全体攻撃で二回攻撃ママ」。オンエアをご覧になっているみなさんは、もうご存じですね。真々子さんを演じている茅野愛衣さんが歌う、楽しくてキュートな楽曲です。

ちょっと大人の方は、原曲の「バタバタママ」がすでにビンと来たかと。知らない方に説明すると、往年の幼児教育番組「ひらくポンキッキー」で流れていた歌で、専業主婦のお母さんの日課を子供からの目線でコミカルに綴った、いってみれば「お母さん、ありがとうソング」なんです。「通常攻撃が全体攻撃で二回攻撃ママ」も、MMMMMM

キャラクター紹介 Part2

●スペシャル対談で登場して頂いた鈴代さん演じるワизと柚木さん演じる夜の女帝って、どんなキャラクター?



真々子さんの子女自慢♪その2〈根は素直なワизちゃんと可愛いポータちゃん〉

『お母好き』のキャラクターのポイントを、真々子さんが語っちゃうシリーズ。2回目は、ワизとポータです。



ワизちゃんは、ちょっと気が強い女の子だからマーマ君とはじょちゅう言い合いになっちゃうみたい。でも、「ケンカするほど仲が良い」というわよね。そんな感じじゃないから。ツンツンしてところもあるけど、根は素直で優しい子。すぐにブンブンしゃのもの、きっと素直かなのよね。それど、ワизちゃんは、魔術がとっても上手なの!「連続魔」っていうのが、得意らしいわあ、あと、私の作った朝ご飯を「美味しい!」って本当に喜んで食べてくれるのよ。

ポータちゃんは、初めて会った瞬間に「この子はとっても良い子って感じたの。それはマーマ君も一緒だったみたい。私のことを『ママさん』って囁いてくれるもの、とっても嬉しいわ。モンスターさんを倒した後、ジェム?っていうのを一生懸命集めてくれる姿は、なんだかリスさんみたいでそこも可愛らしいの。それから、ポータちゃんが持つるバッグは、とってもすごいの。いろんな物がたくさん入れられるんですね。布団袋みたいで、便利よね!

全ての『お母好き』ファンのための情報誌



鈴代紗弓 × 柚木涼香 スペシャル対談!

ED曲『通常攻撃が
全体攻撃で二回攻撃ママ』
って、こんな歌♪

キャラクター 紹介 Part2

真々子さんの 子女自慢♪

通常攻撃が
全体攻撃で
二回攻撃の
お母さんは好きですか?

TVアニメ絶賛放送中!

- TOKYO MX・BS11・とちぎテレビ・群馬テレビ: 毎週金曜24:00~
- MBS: 每週土曜27:38~
- テレビ愛知: 每週火曜26:05~
- AT-X: 每週土曜23:00~

*放送日時は予告なく変更の可能性があります。

**Blu-ray&DVD
+OVA発売決定!
第1巻9月25日(水)発売!**



エンディングテーマCD、
スペシャルイベント
優先販売申込券同梱!

好評発売中!

原作小説1~8巻



著:井中ひろみ/イラスト:鹿田ほむ
ヤングエースUPにて連載中!
コミックス1~2巻



脚:井中ひろみ/イラスト:鹿田ほむ
ヤングエースUPにて連載中!
コミックス1~2巻





『お母好き』親子面談-第2回- 鈴代紗弓×柚木涼香

『お母好き』キャスト同士のスペシャル対談。第2回は第3話・第4話でフィーチャーされた、ワイスと夜の女帝ことワイスのママを演じたお二人に、楽しくトークしてもらいました。

子供も親も、それぞれの立場で共感できる作品

——この作品の第一印象は?

鈴代 コメディかなと思って読んでいたら、実はそれだけじゃないというか、真々子さんには立ちばがる。いわば敵でもお母さんであることにビックリしましたね! でも真々子さんみたいな優しいタイプだけじゃなくて、色々な「ジャンル」のお母さんが出てきて、そこで抱いているのは深刻な悩みだったりもあるんですね。みんな、現実世界で何かしらがってゲームの世界に来ている、その「何かしら」にアリティがあって、そこが丁寧に描かれているなあって。まさにストーリーはハートフルを感じの落としてどこで、気持ちが温かくなると言ふか。

柚木 (しみじみ) 分かる!私も同じくインキャラクターそれぞのお母さんも出てきて、親にも子にも色々な思いがあつ。コメディだけど、そこがちゃんと掘り下げられて。大人線からも子供線からも、確かにそうだなって考えられるところが面白いなあって。

鈴代 それこそ、真々子さんは邪魔になっちゃう真人の台詞はある、こういう風に思うことあるよねあって、共感出来ます。親は親で、子供のことを大切に思っているんだなあと分かって。本当にどちらの気持ちも分かるんですよね。

柚木 だから、親で親れちゃうかもね。今は親世代の人もアニメやTVゲームで育って来ただろうから、一緒に観て分かると思うんです。でも子供からしたら親と一緒に観るのはイヤかな? ジャア、別々に見た上で話すとか!(笑)

鈴代 そうですね。やっぱり一緒に観るのは恥ずかしいところもあると思うので。(笑)

柚木 でも、それぞれの立場で感じるものがあると思うんです。

鈴代 本当にあります。このアニメを観て「お母さんにもっと優しくしようかな」「普段言えない感謝の気持ちを伝えてみようかな」とか、そういう気持ちが芽生えた嬉しいですよね。

——ワイス親子は、結構シリアスな問題を抱えてましたね。

柚木 演じていた私が言うのもアレですが、和乃は酷いお母さんですよね!(笑)だから、ワイスちゃんは本当に出来た子!

鈴代 いやいや、ワイスもポンコツ残念なところもあり

外の息づかいとともにノリノリで入れて下さって。

鈴代 個性が出てました(笑)。

柚木 しかも私に対してずっと「夜の女帝様!」って扱って下さって。でもそんな椅子に意気揚々と座っているお母さんを見るワイスちゃんは、辛すぎるよね!

鈴代 辛いですね(笑)。あそこまで行くと、恥ずかしいとかじゃないです。

柚木 現実世界ではワイスちゃんもお母さんとのことで辛い想いをしたわけじゃない。それがゲームの世界に来たら、さらにはこれじゃあ……。

鈴代 もう、他人になりたい!って感じですよ。本当に可哀想!でも、そんなことはねのけちゃうくらい、上から目線で真人には接しているつもりでも、本当に野性的に生きている子。そこは割りきれる性格だったから、変にグレizuに来れたのかな……まあちょっとグレてますけど(笑)。

柚木 強がっているというか、強くならざるを得なかったんだよね。それくらいしっかりしてるんだよ。

鈴代 「しっかりしよう!」って思ってきた結果のツンケンなのかな?って。でも構ってもらえないふとくされたりするので、寂しがり屋な部分もあるんですよね。真人はボーナーには優しいけれど自分(ワイス)には冷たいから、「なんで、優しくないの?」ってイタッとなって、「フン!」ってそっぽ向いちゃうところに、動物的な可愛さがあって。思わずヨシヨシしたくなります(笑)。

ワイスは、ツンケンしてるだけじゃない女の子

——ワイスを演じる時は、ツンケンした感じは意識されているんですか?

鈴代 そこは「犬っぽい感じ」といいますか、構ってもらいたくて、ワンワンキンキン叫ぶみたいな。そういう意味では一番遊べる役なので、アフレコしている最中に感じたものをアドリブにしてパンパン入れてみたりしていました。たくさん挑戦させてもらっているキャラクターです。もう一方で気付いているのは、嫌な子に見えないようにしたいなあという点です。うるさいし上から目線だけ憎めない感じが出来れば良いな。

鈴代さんから見てワイスに共感出来るところは?

鈴代 私もオーラジが好きです(笑)。

——いや、ワイスは別にオレンジが好きあの髪色なわけではないか?(笑)。

鈴代 (笑)、やっぱり相手を思いやるポイントに気付ける子なんだ。あいつお母さんの元で育ったけれども……でもきっと、最初はちゃんと愛情を持って接していたお母さんがいてのワイスだと思うので、そういう根柢にある人間力というか。「こういう時は気にするよね」と私が思う

構つてもらいたくて、吼えてるみたいに
ワイスは「犬っぽい感じ」……



ころを気にしているとか。ただツンケンしているだけじゃないのが良い子だな、ちゃんと人のことを想いやれる優しい子だなと思います。

——ワイスは真人をどう捉えていると感じていますか?

鈴代 最初は自分のこと(ワイスが化けていた履歴書)をぐしゃぐしゃにして捨てるし、「なんだ、コソイ」と思っていたのが、徐々に……第3話・第4話でお母さんとの関係を築いてくれた言葉を見て、「あ、意外とイイヤツじゃん。優しいじゃん」みたいな(笑)。そこから仲間として、自分の中で一緒にいて欲しい存在になったのかな?って。だからこそ「なんで私に構ってくれないの?」って。今段階だと恋愛対象とかではなくて、自分をちゃん見守ってくれる存在として、大切に思っているのではないでしょうか。

子供のまま大人になったようなタイプの夜の女帝

——柚木さんは、夜の女帝(和乃)はどういう印象を持たれましたか?

柚木 何かを誇めていたような……。多分、我が家大事にするとか当たり前のことにもちょっと疲れていて。

それでどこか冷めているところがある人だなあとは思つたんです。やってることは、かなり振り切っちゃっているんですけど(笑)。「マジメに努力したって、生きたって無駄なのよ!」っていう気持ちが、どこかにあの人だと感じました。根はすごくマジメののかも知れないんですけど、でも子供っぽいところがある人だなって思つたんです。

鈴代 ああ、そういう感じがします。

柚木 ただ、ワイスちゃんも少し似てる部分があるよね。鈴代(しみじみ)あります! 和乃さんは、若い頃はワイスみたいな少女性だったのかなって。

柚木 私も気がついたら大人になっちゃってたから、ちゃんとしなっちゃ! 子供のままの気持ちでいちゃいけないんだ、とか。ワイスのお母さんを見ていて、色々思うところがありました。ただお母さんもやるやるのは、自分の声に「安定感」がない気がして。「この声質でお母さん役、大丈夫かな?」って思っちゃうんです。

鈴代ええ? もう完全に「お母さん」でしたよ。

柚木 ありがとうございます! お母さん役も出来たのかな? とは思いつつ、勉強させていただきました。

——MMMMMORPG(仮)は、和乃から誘ったわけですか?

鈴代 ありがとうございます! 本当にワイスはエネルギー満々な子なので、その分演じるにはパワーを使えますけど、第4話は気持ちよく体力を使いたい感じがありました。第4話の最後の和乃さんとの言い合いまでも、途中からはアドリブで勢いだけでやったんですけど、大先輩の柚木さんから「もっとどんどん来て良いよ!」っていう勇団気が感じられたので、「もっと乗っかっていいこ!」ってすごく引つ張ってもらえたんです。

柚木 あの2人の言い合いは、仲が良いのか悪いのか(笑)。きっと良いんでしょうね。そんなところも感じ取って、楽しんでもらえたら嬉しいです。それで、第4話のアフレコが終わってから、「あれからも、鈴代ちゃんは頑張ってるんだろうなって1人で想いを馳せてたの。

——もう、完全に母親目線ですね(笑)。

から。真々子さんには、夢を見させてもらいました。

鈴代 真々子さんのことは、みんな大好きです。

二人の間に生まれた「リアル愛」!

——ワイス編と言うまげ第3話・第4話が終わっての感想などをお願ひします。

柚木 アフレコ現場では、鈴代ちゃんはすご一生懸命でもう本当に可愛くて!

鈴代 !(嬉)

柚木 アドリブの掛け合いも、「ここはどういう風にしましょうか?」ってすぐ私の隣に来て一緒に打ち合わせをしたりして。私も鈴代ちゃんへの愛情が芽生えていて。なのでワイスにキツい台詞を言う時は私自身苦しい気持ちになったんです。そこを「いや、今は歪んだ心になっちゃって夜の女帝だから!」って(笑)。そう自分に言いかけて演じました。だから最後に和解できた時は、本当に嬉しかったです! それくらい私も感情移入してしまった作品です。本当にみんな、勇気があればお母さんと一緒に見て欲しいなって思ふんですよ(笑)。

鈴代 第4話で、ワイスの抱えていた複雑な親子事情がようやく解消されたわけですが、彼女にとっては長い道のりだったのだろうと思うんですけど、物語が始まる以前の部分もありますし。でもゲーム世界に入る切っ掛けをくれたのは和乃さんですから。それで最終的にはお互いに「ゴメンね」という感じになれて、より親子の親密レベルが上がったんじゃないかなあって。母親に変わった欲しい気持ちが、ワイス自身にもあったと思うので、そういう感情がバーッと、一番最後に回ったと思うんです。

柚木 (感慨深く)頑張ったよね! 良いお芝居だった! すごく伝わってきたよ!

鈴代 ママあ~!(感嘆)

——柚木さんからご寛ぎになって、鈴代さんの頑張りが特に見えた台詞は?

柚木 もう全部です。仲間にに対する気持ちもだし、母親に対する確執の感情や葛藤……ワイスちゃんのいろんな気持ちをいっぱい感じました。お芝居に入り込んでいた分、辛い気持ちになったかも知れないけれど、すごく頑張って、私が出番のないシーンでは、マイク前に立つ鈴代ちゃんの背中に「頑張れ!」って心の中で応援していました。

鈴代 ありがとうございます! 本当にワイスはエネルギー満々な子なので、その分演じるにはパワーを使えますけど、第4話は気持ちよく体力を使いたい感じがありました。第4話の最後の和乃さんとの言い合いまでも、途中からはアドリブで勢いだけでやったんですけど、大先輩の柚木さんから「もっとどんどん来て良いよ!」っていう勇団気が感じられたので、「もっと乗っかっていいこ!」ってすごく引つ張ってもらえたんです。

柚木 あの2人の言い合いは、仲が良いのか悪いのか(笑)。きっと良いんでしょうね。そんなところも感じ取って、楽しんでもらえたら嬉しいです。それで、第4話のアフレコが終わってから、「あれからも、鈴代ちゃんは頑張ってるんだろうなって1人で想いを馳せてたの。

——もう、完全に母親目線ですね(笑)。

私が言うのもアレですけど、和乃は酷いお母さんですよねえ!(笑)



柚木 本当にそうなんですよ!(笑)作品を通して私たちの間に「リアル愛」が生まれたんです!

鈴代 私、第4話の収録後は「ああ、来週からお母さんは来てくれないんだ!」って寂しくて。

柚木 私も寂しかった! 今後も和乃として時々顔を出して、こっそり見守りたいのにって。あ、第2期があれば、和乃の出番がまたあるかも?

鈴代 原作は続いているし、その可能性はありますよね!(笑)

柚木 じゃあなおさら、ファンのみなさんの応援の力が必要ですね!

鈴代 みなさん、SNSとかでも応援、ぜひお願いしますこのアニメを観て、お母さんのことを考える切っ掛けを作りましょう!

柚木 他の作品にはない切り口の作品ですからね。もしまだご覧にならないという方、まだ第4話ですかから、ぜひ覗いて下さい! 絶対ハマると思いますので、今まで見て頂きました。

鈴代 みなさん、SNSとかでも応援、ぜひお願いしますこのアニメを観て、お母さんのことを考える切っ掛けを作りました。

柚木 あの2人の言い合いは、仲が良いのか悪いのか(笑)。きっと良いんでしょうね。そんなところも感じ取って、楽しんでもらえたら嬉しいです。それで、第4話のアフレコが終わってから、「あれからも、鈴代ちゃんは頑張ってるんだろうなって1人で想いを馳せてたの。

——もう、完全に母親目線ですね(笑)。

